

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース
第29号 2010.3.29.

NPT再検討会議まで1カ月、核軍縮へ世界が動きはじめた

「核兵器は廃絶を」の署名と世論の力で、核兵器 廃絶・禁止の国際条約締結交渉を開始させよう！

アメリカとロシアの間で、新たな核軍縮条約が合意されました。今回の合意は、「核兵器のない世界をめざす」と述べた昨年4月のオバマ大統領の提唱をうけて米口首脳が「核なき世界」をめざすことが出発となって具体化されたものであり、重要な一歩です。この合意を5月のNPT再検討会議にむけて、核兵器廃絶の国際的気運を高め、NPT第6条の「核保有国の誠実な核軍縮交渉義務」の実行、核廃絶条約の交渉への前進につなげていくことこそ求められます。

米口が合意した核軍縮の目標は、双方が戦略核弾頭を1550発まで減らすというもので、これは広島型原爆の5万発にも匹敵します。アメリカ政府は、新たな核戦略の指針「核体制の見直し(NPR)」を近く公表し、4月12日に核安全保障サミットを開催しますが、米口などの核抑止力の保持を前提に、核不拡散(他国やテロリストには核兵器は持たせない)を中心課題にするのであれば、「核兵器のない世界」の実現にはつながりません。しかし、「核兵器は人類とは共存できない」と廃絶を願う運動と世論を背景に、5月のNPT再検討会議では、「核兵器の全面廃絶に対する核兵器保有国の明確な約束」(2000年NPT再検討会議での合意)をふまえたNPT運用見直しを議題とすることが、昨年の準備会合で決まっています。昨年秋の国連総会では、核兵器廃絶条約の交渉開始を求める決議が圧倒的多数の国々の支持で採択されており、米口英仏の核保有大国にこれに認めさせるかどうかはNPT再検討会議の最大の焦点です。これを実現させる力は、「核兵器のない世界」を求める世界の世論の結集です。



署名運動の勢いを加速し、目標までの残り25万筆 をNPT代表団に託してニューヨークに届けよう！

全国で集められた署名は、557万筆(3/23集約)に達し、このうち400万筆がNYへ船積みされました。5年前のNPTでの署名503万筆をすでに超えて、署名運動が広がっています。日本のとりくみは世界の運動を励まし、アメリカの平和運動家は「日本では何百万筆もの署名が集められている」と回状をまわし署名のとりくみを呼びかけています。

しかし、人口の1割、1200万筆の目標のまだ半分です。全教も、10万筆を超えましたが、35万目標達成まで残り25万弱です。あと1ヶ月、運動の勢いを5倍、10倍に加速して、全教・教組共闘の代表団に署名を託してNYに届けましょう。

4月の6・9行
動、独自宣伝を
大成功させよう

全労連「核兵器廃絶署名・憲法署名
4・10ロングラン宣伝」

4月10日(土)上野公園口 11時~14時